



安全データシート

1 化学品及び会社情報

- 1.1 製品名: テルスター水和剤 (ピフェントリン水和剤)
- 1.2 用途: 殺虫剤
- 1.3 会社情報: 会社名 石原産業株式会社
住所 大阪市西区江戸堀一丁目3番15号
担当部門 三重県四日市市石原町1番地
石原産業株式会社 環境安全衛生統括グループ
電話:059-345-6205 FAX:059-345-6206
- 1.4 緊急連絡先: 会社名 石原産業株式会社 バイオサイエンス事業本部 生産技術部
電話:059-345-6118 FAX:059-345-6180
- 1.5 作成日: 2007年4月18日
改訂日: 2020年12月22日③

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ先 : 石原テレホン相談室 0120-1480-57(フリーダイヤル)

2 危険有害性の要約

2.1 化学品の GHS 分類

JIS Z 7253 / GHS 分類マニュアルによる分類(改訂6版)

物理化学的危険性:

爆発物	区分に該当しない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	区分に該当しない
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性物質	分類できない
鈍性化爆発物	分類できない

健康に対する有害性:

急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:ガス)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん及びミスト)	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 2B
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分1A
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(呼吸器系) 区分2(神経系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器系) 区分2(神経系)

誤えん有害性

分類できない

環境に対する有害性:

水生環境有害性 短期(急性)

区分1

水生環境有害性 長期(慢性)

区分1

オゾン層有害性

分類できない

2.2 GHS ラベル要素

JIS Z 7253 / GHS 分類マニュアル(第6改訂版)による表示

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

H320	眼刺激
H350	発がんのおそれ
H370	呼吸器系の障害
H371	神経系の障害のおそれ
H372	長期にわたる、または反復ばく露による呼吸器系の障害
H373	長期にわたる、または反復ばく露による神経系の障害のおそれ
H400	水生生物に非常に強い毒性
H410	長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き:

【安全対策】

安全対策については、「7. 取扱い及び保管上の注意」、「8. ばく露防止及び保管措置」を参照。

P264 取扱い後は手および眼をよく洗うこと。
 P201 使用前に取扱説明書入手すること。
 P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 P260 粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
 P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 P273 環境への放出を避けること。

【応急措置】

応急処置については、「4. 応急措置」、「5. 火災時の措置」を参照。
 P305+P351 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用
 +P338 して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当を受けること。
 P308+P313 ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当を受けること。
 P308+P311 ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診断に連絡する事。
 P314 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
 P391 漏出物を回収すること。

【保管】

保管については、「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照。

P405 施錠して保管すること。

【廃棄】

廃棄については、「13. 廃棄上の注意」を参照。

P501 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

2.3 その他の危険有害性: 特になし



安全データシート

3 組成及び成分情報

3.1 化学物質・混合物の区別: 混合物

3.2 成分:

一般名	ピフェントリン	鉱物性粉末・界面活性剤等		
化学名	2-メチルピフェニル-3-イルメチル(2)-(1RS, 3RS)-3-(2-クロロ-3, 3-トリフルオロプロパ-1-エニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート	シリカ (石英)	酸化 アルミニウム	その他
含有率	2.0%	76%	16%	6%
官報公示整理番号 化審法	農薬取締法に規制される物質 (4)-1701	(1)-548	(1)-23	—
官報公示整理番号 安衛法	7-(3)-277	公表	公表	—
CAS No.	82657-04-3	7631-86-9	1344-28-1	—

4 応急措置

4.1 応急措置の記載

- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 皮膚に付着した場合: 直ちに、皮膚を多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。
使用中に皮膚への刺激や不快感が生じた場合、製品の使用を止めること。
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合: 水でよく口の中を洗浄すること。
気分が悪い時は医師に連絡すること。
決して吐かせてはならない。水または牛乳で口の中を濯ぎ、胃の内容物を薄めるためにコップ1~2杯の水や牛乳をゆっくり飲ませる。アルコールを含む飲料を与えてはいけない。意識混濁・昏睡状態、痙攣などの場合は、何も与えないこと。(ピフェントリン)
- ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

4.2 最も重要な兆候及び症状: データなし

4.3 医師に対する特別な注意事項: 本剤による中毒の治療法としては、実験動物で筋弛緩薬(メトカルバモール製剤等)の投与が有効であると報告されている。

5 火災時の措置

- 5.1 適切な消火剤: 粉末消火剤、泡消火剤、水噴霧、二酸化炭素を使用する。
- 5.2 使ってはならない消火剤: 火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水をさける。
- 5.3 特有の危険有害性: 火災時に、一酸化炭素、二酸化炭素、塩化水素、フッ化水素等の刺激性、腐食性および毒性を有するガスを発生するおそれがある。
加熱により容器が爆発するおそれがある。
- 5.4 特有の消火方法: 消火活動は風上から行う。
火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
粉塵を吸入しないように注意する。
- 5.5 消火を行う者の保護具及び予防措置: 消火作業は、必ず保護具を着用し、風上より行ない有害ガスの吸入を避ける。



安全データシート

6 漏出時の措置

- 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 適切な保護具を着用する。
多量の場合は人を退避させ、周囲にロープを張り、関係者以外を立入禁止にする。
- 6.2 環境に対する注意事項: 環境への放出を避ける。公共の水路・水源等に流出したときは、警察・水質関係官庁に知らせる。
- 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材: 粉塵の発生を防ぐため、漏出物を水で湿らせるか湿性の吸着剤を使用し、スコップ等を用いて密閉できる容器に回収する。回収容器には、内容物を明記したラベルを貼付する。
漏出場所の清掃は器具を用いて行い、中和には漂白剤、水酸化ナトリウム溶液を使用する。
その後、水を用いて完全に洗浄する。洗浄液は吸着剤を使用して回収する。
廃棄物は「13. 廃棄上の注意」に従って処理する。
- 6.4 二次災害の防止措置: すべての発火源を速やかに取り除き、可燃物は漏洩物から隔離する。そして、排水溝、下水溝、地下水あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7 取扱い及び保管上の注意

- 7.1 取扱い:
- 技術的対策: 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。
- 安全取扱い注意事項: 使用前に取扱説明書を入手すること。
粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
- 接触回避: 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- 衛生対策: 取扱い後は手および眼をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 7.2 保管:
- 安全な保管条件: 施錠して保管すること。
密封容器に入れ、火気を避け、直射日光の当たらない冷涼な場所で保管すること。
- 安全な容器包装材料: 破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。

8 ばく露防止及び保護措置

- 8.1 許容濃度等:
- 管理濃度: 吸入粉塵 $3.0/(1.19Q+1) \text{ mg/m}^3$ (Q=粉塵中遊離珪酸(%))
日本産業衛生学会(2017年版): 成分名 吸入性結晶質シリカ 0.03 mg/m^3
- ACGIH (2015年版): 成分名 結晶質シリカ 0.025 mg/m^3
- 8.2 設備対策: 粉塵が発生する場合は換気装置を使用する。
- 8.3 保護具:
- 呼吸用保護具: 粉塵が発生する場合、必要に応じて自給式空気呼吸装置付き保護マスクを着用する。
- 手の保護具: 手に接触するおそれがある場合、薬品用の保護手袋を着用する。
- 目、顔面の保護具: 眼に入るおそれがある場合、薬品用保護ゴーグルを着用する。
- 皮膚及び身体の保護具: 作業用の長袖上衣、長ズボン、帽子を着用すること。

9 物理的及び化学的性質

- 9.1 物理状態: 粉末
- 9.2 色: 類白色
- 9.3 臭い: データなし
- 9.4 融点/凝固点: データなし
- 9.5 沸点又は初留点及び沸騰範囲: データなし



安全データシート

JIS Z 7253/GHS 分類マニュアル(改訂6版)に準拠

9.6	可燃性:	データなし
9.7	爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:	データなし
9.8	引火点:	データなし
9.9	自然発火点:	データなし
9.10	分解温度:	データなし
9.11	pH:	5.8
9.12	動粘性率:	データなし
9.13	溶解度:	データなし
9.14	n-オクタノール/水分配係数:	データなし
9.15	蒸気圧:	データなし
9.16	相対密度:	0.31 (比重)
9.17	相対ガス密度:	データなし
9.18	粒子特性:	データなし

10 安定性及び反応性

10.1	反応性:	データなし
10.2	化学的安定性:	通常の条件下で安定
10.3	危険有害反応可能性:	データなし
10.4	避けるべき条件:	データなし
10.5	混触危険物質:	データなし
10.6	危険有害な分解生成物:	データなし
10.7	その他:	

11 有害性情報

11.1	急性毒性:	経口 LD ₅₀ >5000 mg/kg (ラット) 経皮 LD ₅₀ >2000 mg/kg (ラット) 吸入 (粉じん、ミスト) LC ₅₀ >5.25mg/L (ラット)
11.2	皮膚腐食性/刺激性:	刺激性なし
11.3	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	ごく軽度の刺激性
11.4	呼吸器感作性又は皮膚感作性:	呼吸器感作性: データなし 皮膚感作性: 感作性なし
11.5	生殖細胞変異原性:	区分2のシリカを76%含むため区分2とした。
11.6	発がん性:	区分1Aのシリカを76%含むため区分1Aとした。
11.7	生殖毒性:	データなし
11.8	特定標的臓器毒性(単回ばく露):	区分1(神経系)のピフェントリンを2.0%含むため区分2(神経系)とした。
11.9	特定標的臓器毒性(反復ばく露):	区分1(吸入:肺)の酸化アルミニウムを16%、区分1(呼吸器、腎臓、免疫系)のシリカを76%含むため区分1(呼吸器、腎臓、肺、免疫系)とした。区分1(神経系)のピフェントリンを2.0%含むため区分2(神経系)とした。
11.10	誤えん有害性:	データなし

12 環境影響情報

12.1	生態毒性:	水生環境有害性 短期(急性) コイ LC ₅₀ 0.225mg/L(96時間) (ピフェントリン) オオミジンコ EC ₅₀ 0.0582 µg/L(48時間) 藻類 ErC ₅₀ >0.438 µg/L(72時間) 水生環境有害性 長期(慢性) データなし。 急性毒性が区分1に該当することから、慢性区分1とした。
12.2	残留性・分解性:	データなし
12.3	生体蓄積性:	データなし(ピフェントリンは BCF=540~1330)



安全データシート

- 12.4 土壤中の移動性: データなし
12.5 オゾン層への有害性: 本品の成分はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13 廃棄上の注意

- 内容物/容器を国/都道府県/市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。
13.1 内容物の廃棄: 焼却時、有害ガス(HCl等)が発生するので、アルカリ吸収設備の備わった場所で法・条例に従って安全に処理する。
13.2 容器の廃棄: 内容物を使い切った後、適切に処理する。

14 輸送上の注意

- 14.1 国連番号: 3077
品名: Environmentally hazardous substance, solid, n.o.s.(ピフェントリン)
国連分類: 9
容器等級: III
14.2 海洋汚染物質: 該当
14.3 MARPOL73/78 附属書II及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質: 非該当
14.4 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策: 輸送に際しては直射日光をさけ、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
14.5 国内規制がある場合の規制情報: 陸上規制情報: 非該当
航空規制情報: 航空法の規制に従う
海上規制情報: 船舶安全法の規制に従う
14.6 応急措置指針番号: 171

15 適用法令

- 農薬取締法: 農薬登録番号 第20791号
毒物及び劇物取締法: 該当しない(ピフェントリン 2%以下は除外)
消防法: 該当しない
労働安全衛生法: 第57条(表示対象物質) 結晶性シリカ(第165-2号) 76%
酸化アルミニウム(第189号) 16%
第57条の2(通知対象物質) 結晶性シリカ(第165-2号) 76%
酸化アルミニウム(第189号) 16%
化審法: 旧第2種監視化学物質 ピフェントリン
化管法: 第1種指定化学物質 該当しない
第2種指定化学物質 ピフェントリン(第2-94号) 2.0%

16. その他の情報

本SDSはエフエムシー・ケミカルズ株式会社「テルスター水和剤」安全データシート(改訂日:2018年4月17日)をもとに作成しています。

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ

石原テレホン相談室 0120-1480-57(フリーダイヤル)
※石原バイオサイエンス(株)の全国の支店のうち、最寄りの事業地につながります。

公益財団法人 日本中毒情報センター (事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)

中毒110番 一般市民専用電話 (大阪) 072-727-2499(情報料無料)
365日24時間対応
(つくば) 029-852-9999(情報料無料)
365日9~21時対応



製品名: テルスター水和剤 (ピフェントリン水和剤)

SDS No. A-1102

安全データシート

作成日 2007年4月18日

JIS Z 7253/GHS 分類マニュアル(改訂6版)に準拠

改訂日 2020年12月22日③

中毒110番 医療機関専用有料電話 (大 阪) 072-726-9923(1件2000円)
365日24時間対応
(つくば) 029-851-9999(1件2000円)
365日9~21時対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合、情報提供料は有料(1件につき2,000円)となります。

この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253:2019に基づいて作成しています。

記載内容の取扱い

本 SDS の記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の見取りを対象としたものであり、特別な見取りをする場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

記載内容は情報提供であり、保証されるものではありません。